

予土線沿線のグルメと景色を満喫

◎よどせん感謝祭ツアー

よどせんプチマルシェの様子



3月2日、よどせん感謝祭ツアーが開催され、その一環として道の駅森の三角ぼうしで「よどせんプチマルシェ」が開催されました。南予エリアのゆるキャラたちがラッピングされた「おさんぽにゃんよ号」に乗車した参加者たち。車内では予土線沿線の特産品がふんだんに使用された「よどせんご膳」が振る舞われました。また、よどせんプチマルシェでは鬼北特産のきじを使ったグルメを販売。また、予土線の形をしたクッキーの販売や、予土線グッズが当たる抽選会などが行われ、訪れた人を楽しませていました。

鬼のまちの風をあびながら駆け抜ける

◎鬼の地獄道デュアスロン in Hiyoshi

鬼の地獄道でもこの笑顔



「鬼の地獄道デュアスロン in Hiyoshi」は2月24日、日吉地区を中心に開催されました。トライアスロンの水泳をランニングに変えたスポーツ「デュアスロン」。この日は、県内外から多数の自転車愛好家が参加しました。参加者らはフルコース（ラン約10km・バイク約34km・ラン約3km）と、バイクのみのコース（約34km）に分かれて、日吉産地を出発。時折「しんどい」、「あと何キロ?」と疲れをのぞかせながらも、日吉地区を中心とした鬼北町の景色を眺めながら、それぞれの楽しみ方で走破していました。

仲間とともにつかむ「一勝」

◎鬼北町球技スポーツ少年後期大会

白熱した攻防戦を繰り広げる選手



「鬼北町球技スポーツ少年後期大会」は3月9日、鬼北総合公園体育館で行われました。この日はバスケットボールの試合が行われ、町内外から4チームが参加。会場には懸命にボールを追いかけ、コートを駆け抜ける選手たちの姿、声を張り上げ、仲間の好プレーを称える選手たちの勇姿が見られました。また、子どもたちを後押しする保護者たちの声援も鳴り響き、会場は熱気に包まれていました。主な結果は次のとおりです。

① 広見ミニバスクラブ
② 野村ミニバス教室 B

今よみがえる、弥生集落

◎興野々寺山遺跡竪穴住居復元プロジェクト

竪穴住居の完成まであと少し



3月2日、平成30年度鬼北町埋蔵文化財活用事業の一環として、「興野々寺山遺跡竪穴住居復元プロジェクト」が行われ、地元住民らが参加しました。興野々寺山遺跡は、南予地域で初めて発見された弥生時代後期の遺跡。現在、「遺跡活用ひろば」を目指し、これまで住居3棟、骨組1棟が復元されています。今回、新たな住居の復元とともに、7月豪雨災害で損傷した箇所への補修や溝の平面標示を実施。参加者たちは協力して汗を流しながら、立派な住居を完成させていました。